

第374医療群 防衛医科大学校の学生を迎え、ツアーを実施 374 MDG hosts Japan's National Defense Medical College students for immersion tour

April 1, 2025

By Yasuo Osakabe
374th Airlift Wing Public Affairs

3月20日、第374医療群は、横田基地から約19キロ離れた場所にある所沢市の防衛医科大学校(NDMC)の看護学生を迎え、年次見学ツアーを実施した。

NDMCからは、3年生の看護学生11名と教員が参加し、米軍の医療体制を見て体験した。

第374医療群看護部門モシュード・イヌサ少佐は、「ツアーの目的は、米軍の現役看護官の業務を紹介し、日本の看護学生との交流を促進することだ。この経験を通じて、卒業後、彼らが他国の軍医療体制を深く理解する助けとなるだろう」と述べた。



ツアーでは、戦術的戦傷救護(TCCC)訓練の実技体験、バーチャルリアリティ(VR)を活用した医療演習、第374医療群施設の見学が行われた。また、軍用犬を診療する施設を訪問したほか、UH-1NヒューイとCV-22オスプレイの地上展示も実施され、これらの機体が救急搬送機として果たす役割についても学んだ。



第374医療群のチーフ看護官ジャニス・ペクア大佐は、NDMCの学生にとって米国の医療システムや看護実務に触れる機会の重要性を強調した。

ペクア大佐は、「この交流は、異文化間のコミュニケーション能力や協力を高めると同時に、多様な医療環境での実践的な経験を提供する。さらに、軍医療や災害対応への理解を深める機会にもなる」と述べた。

第374医療群は、異文化交流を通じて、日米の医療協力を促進し、相互の信頼と連携を強化することで、将来の共同作戦に備えた即応態勢の向上に努めている。